

令和4年度 第2回学校運営協議会議事要旨

松戸市立小金小学校

○日 時 令和4年6月11日(土) 10:00より

○場 所 小金小学校コミュルーム

○参加者

学校運営協議会委員 出席者(敬称略)

秋山 孝一郎 安達 里季 上野 久 大橋 康司 大谷 茂範
小野 順子 山口 真由美 丸山 達也 片岡 淳一
堀子 榮 西郡 泰樹 堀合 竜太

(12名)

学校運営協議会委員 欠席者(敬称略)

伊師 嗣迪 鈴木 悦朗 関口 貴之 渡辺 勝久
志村 雅人 吉野 大介

(6名)

○次第

【学校運営協議会】 10時00分より

(1) 授業参観

校長 西郡泰樹より本日の授業参観・引き渡し訓練についての説明を行った。

3校時授業 10:30 ~ 11:15 …6年キャリア教育参観

※パパさぼによるキャリア教育の授業を参観

パパさぼとは、小金小学校に通う子どものパパたちからなるPTAの中の組織で、子どもの安全と思い出作りのサポートを行っていただいています。

4校時授業 11:20 ~ 12:05 …各教室にて授業参観

引き渡し訓練 13:45 ~ …校庭にて訓練の参観

〈感想箋より〉

- ・子どもたちの、真剣に机に向かう姿が印象的だった。
- ・6年生に掲示されていた絵の題名の奥深さから小学生のすごさを感じた。
- ・板書が丁寧だったことが印象的であった。
- ・一人1台タブレットを使った授業展開があると、保護者も新しい取り組みに対して誇りに思うのではないかな。

- 6年生のキャリア教育の授業が子どもたちも積極的に取り組んでおり、素晴らしい授業だと感じた。
- パパたちの生き生きとした様子から、学校がいろいろな方の居場所になっていると感じた。
- パパさぼのキャリア教育は、非常に先進的な取り組みで、子どもの教育上も大変有益だろうと感じた。地域や保護者にもよりアピールできるとよい。
- パパさぼの授業を子どもたちは一生懸命に聞いている。
- 大人ですら引き込まれる素晴らしい内容で、地域の教育支援のよい例だと思った。
- 授業者もサポート者も段取りが素晴らしく、授業を受けている子どもたちも熱心にメモをとったり、挙手したりして、小金小のシンボリックな取り組みである。
- キャリア教育の視点で、父親だけでなく、母親からの話も必要なのではないか。

〈今後協議していきたいテーマについて〉

- 学校と保護者と地域とのコミュニケーションを深化させる方法について
- 小金小の現状を把握したい。(いじめ・学力・不登校等)
- まちづくりをテーマにしたい。(通学路、安全・美観・バリアフリー等)
- 少しでも活動の結果を残していきたい。(学校への支援や地域活動への参画)
- 学校から滲み出てきたものを大切に、地域と共通理解していくことが大切



○次回の開催予定 令和4年10月21日(金) 12:30より

【内容】

- 給食試食会
- 協議